

# 苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 11 回 定例委員会
日 時	令和6年11月22日 自 13時00分 至 13時52分
場 所	第二庁舎2階北会議室
出席委員	教 育 長 福 原 功 委 員 佐 藤 郁 子 委 員 齋 藤 智 子 委 員 岡 田 秀 樹 委 員 高 橋 憲 司
欠 席 委 員	
会議録署名委員	高 橋 憲 司 委員
会議録作成職員	総務企画課主事 根 田 笑 里
事務局職員	教 育 部 長 園 田 透 教 育 部 次 長 山 地 吉 明 教 育 部 次 長 齋 藤 貴 志 教 育 部 参 事 東 峰 秀 樹 教 育 部 参 事 荒 関 基 高 学 校 教 育 課 長 江 原 倫 代 学 校 給 食 共 同 調 理 場 長 稻 場 和 宣 総 務 企 画 課 長 下 濱 辰 哉 総 務 企 画 課 主 査 山 口 元 総 務 企 画 課 主 事 根 田 笑 里
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（福原教育長）・・・13時00分
2 会議録署名委員の指名（高橋 憲司 委員）
3 会議録の承認
（福原教育長） 第10回定例教育委員会（令和6年10月25日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
（一同「はい」の声）
-会議録どおり承認-
4 教育長の報告
（福原教育長） 10月25日開催の第10回定例教育委員会以降の主な動きなどについて報告をさせていただきます。
はじめに、10月26日の糸井小開校50周年および11月9日の泉野小開校40周年の各記念式典、さらに、11月3日の令和6年度苫小牧市文化賞・文化奨励賞表彰式に、それぞれにお忙しい中ご出席をいただきありがとうございました。
今月1日には、令和6年度苫小牧市自治貢献者表彰式が行われ、教育関連で、学校医の山崎弘文さん、学校歯科医の諸岡清重さん、高松謙さん、山村雅彦さん、橘昭夫さん、学校薬剤師の寺口元さん、廣部英子さんが地方自治の進行と発展へのご貢献により、自治貢献者表彰が贈られました。表彰された皆様には、子どもたちの健康管理にお力添えをいただいておりますことに、感謝を申し上げます。

次に、今年度全小中学校で行われた「ゼロカーボン出前講座」ですが、10月28
日に苫小牧東中学校で行われた出前講座を佐藤教育委員とともに参観させていただきました。
市の環境衛生部ゼロカーボン推進室の職員が講師となり進められておりましたが、講師が一方的に話さず、ともに考えながら進行しており、生徒たちの反応、盛り上がりも非常に良かったと思っております。今後、各学校でゼロカーボンスクール
チャレンジ宣言も予定されており、官民挙げて市全体で進めているゼロカーボンシティの実現に、各校長には、引き続きの理解と協力をお願いしたところでございます。
次に、29日には市教委主催の教育講演会「不登校の子どもたちのためにできること」を、京都市立洛友中学校の間野郁夫校長をお招きして開催をしましたが、各委員
そして多くの先生方にも出席いただき、また、一般市民の皆様や市議会議員の参加も見受けられ、不登校問題の対策・対応についての注目度の高さを感じたところでございます。
夜間部と昼間部（学びの多様化学校）を併設し、世代や国籍を超えたふれあいなど、本市で同様の形態を構築することは難しいものの、不登校とどう向き合うか非常に考
えさせられた講演であったと思います。
次に、先月、教育長と校長、教頭との人事等に関する面談を行いました。私としては昨年に続き3回目の経験でしたが、校長、教頭の人事面談のほか、学校トップとし
て組織を管理・統括されている校長の思いや、教員の育成、働き方改革の取組などを聞くとともに、私の考えに対する意見や感想などを伺うことができ、一人当たりの面
談時間としては短いものの、学校現場の現状を知る貴重な機会となりました。
15日には、胆振教育局高橋局長、江川次長と私による人事等に関する教育長協議
が行われましたが、校長面談で感じたことや人事関係などの協議を行ったところでござ
います。私からは、昨年に続き人事に関しては局の責任としてバランスを考えた配置について求めたところでございます。
最後に、岩倉市長の辞職についてお話をさせていただきます。
昨年11月、韓国出張中に倒れ、その後職務復帰されたものの、幾度と体調を崩し

治療を続けておられました。任期途中ではありますが、10月28日に退職の申出、11月5日に市議会臨時会で退職の同意、同日付で退任となりました。

私としては、2006年7月市長就任以来、5期18年間、様々な局面で岩倉市長の行動、決断を間近で見てきた一人として、ここまで市政発展に尽くされ、また、教育行政に対しても深い思いを持っていた市長であり、任期最後まで勤め上げていただきたく強く思っていたことから、残念でなりません。

次の市長選挙が12月1日告示、8日投開票となりますが、私といたしましては、新市長の市政のかじ取りの考え方等を伺うとともに、4年前、教育長就任の打診を受けた時の岩倉市長との約束を胸に、与えられた職務に専念してまいります。また、新市長の教育行政に対する考えなどを伺うためにも、総合教育会議をできるだけ早期に開催したい意向を伝えてまいりたいと考えております。

私からは以上でございます。

報告は以上ですが、何かご質問等ございませんか。

(一同「なし」の声)

## 5 議 案

(福原教育長) 本日は、審議する議案はございません。

## 6 報告・協議

報告(1) 学校給食費の改定について

(学校給食共同調理場長) ー学校給食費の改定について説明ー

(福原教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

<p>(岡田委員) 給食費について、価格高騰に関してはこれまで市の助成金で補填して</p>
<p>いたかと思いますが、今後はなかなか難しいということなのではないでしょうか。</p>
<p>(学校給食共同調理場長) 市からの補助というところでございますが、昨年、一昨</p>
<p>年につきましては、国の臨時交付金というものが全国にございまして、それを活用し</p>
<p>た無償化や食材高騰の支援を行うことができました。現在、この国からの交付金の情</p>
<p>報がございませんので、今のところはそのような予定がないということでございます。</p>
<p>今後そのような国の動きがあれば、市全体の中で様々な支援がある中で検討が図られ</p>
<p>ることになろうかと思っております。</p>
<p>(佐藤委員) 7ページ④⑨にも書いてあるアレルギーについてなのですが、アレル</p>
<p>ギーの調査やアレルギーの対応などについて教えていただきたいと思えます。</p>
<p>(学校給食共同調理場長) アレルギーについては、まず新入学のタイミング、入学</p>
<p>の健康診断などをするタイミングで、保護者の皆さんにアレルギーがあるかないかと</p>
<p>いう調査票をお配りしております。その中で、今現在の給食が卵と牛乳を除いた給食</p>
<p>を出しておりますのでそれを食べられるのか、アレルギー食として別途出しているも</p>
<p>のも献立によってはございますので、それを食べられるのか。あるいは弁当じゃない</p>
<p>と食べれないという方もいらっしゃるので、個別のお子さんのアレルギー状況に応じ</p>
<p>た対応を毎日行っているところであります。</p>
<p>(佐藤委員) 最近給食のことがあまり話題にならなかったものですから伺うことが</p>
<p>なかったんですけど、アレルギーが非常に多くなっていて、以前は牛乳がダメだと</p>
<p>か、お蕎麦がダメだとか、小麦粉とか卵とか猫とか少なかったのですが、最近果物と</p>
<p>かもアレルギーに出てくるのですが、そういうのに対応できるのかどうか。人数が</p>
<p>多いですから難しいと思うのですが、厚真町の給食の見学に行った時はきちっとア</p>
<p>レルギー対応の献立ですとか、内容をよく吟味してるというのがあったものですから、</p>
<p>苫小牧は人数が多いので難しいと思うのですが、調査をもう少し細かくしていた</p>
<p>だければ、アレルギーとかビーガンとか、そういうところの不満とかいうのも少なく</p>
<p>なるのではと思ひ伺いました。</p>

<p>(学校給食共同調理場長) お話しいただいたとおり、苫小牧市も以前と比べるとかなりアレルギーの拡大といえますか、誰でも食べれるような給食という形で提供しているところをございまして、先ほどお話しした保護者の方からの情報、ご相談等には、毎月そのアレルギー食を食べているご家庭には、このような献立が来月出るので食べれるかどうかを確認しながら現在進めているところではございまして、なかなか食数も1日1万2、3千食というところで、どこまで細かくできるかというのは課題と考えてございしますが、できる範囲で対応していきたいと考えております。</p>
<p>(高橋委員) 一点確認になるのですが、7ページのセンターにある「長期休暇のある月も同額というのは分からない」という意見があるのですが、おそらく年間に対して割った金額なので、毎月の支払った数字が月でかけてるお金とは違うということが明確な気がするのですが、この意見が出てるということは、その辺が分かってない保護者がいるということで、そういう周知も、我々が考えてることをしっかり伝えることも大事なのかなと思いますがいかがですか。</p>
<p>(学校給食共同調理場長) おっしゃられたとおりで、我々の周知も足りていない部分もあろうかと思ひまして、今回値上げのお知らせを各保護者の皆さんに出す際に、今の給食費の12等分に均しているんですということもそうですし、その他いくつかこちらの説明が足りてないご質問がございましたので、これも周知させていただきたいと思ひます。</p>
<p>(福原教育長) 他になにかございせんか。ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」)</p>
<p>(福原教育長) それでは、報告第1号の質疑を終結いたします。</p>
<p>報告(2) 財産の取得(追認)について</p>

(総務企画課長) ー財産の取得(追認)について説明ー
(福原教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
<p>前回の9月議会で、消防の関係で議会の議決が必要な手続きが取られてなかったという指摘があり、市長が謝罪をして追認という形をとりまして、その際過去に遡って全数調査をするという方針となり調査を行ったところ、教育部を含めて新たに4件判明したため、来週から始まる議会に追認の議案として提出したものでございます。私が言うのも変ですが、失念していたのではなく、教育部としての判断、解釈が、精査の中で財政部と協議した結果追認が必要ということに至ったということでございます。</p>
(高橋委員) 知識というかわからないのでお聞きしたいのですが、この事態というのは、今までリースみたいな形で所有権としては業者に属している、という捉え方で判断していたけれども、実際は学校の財物だという判断で今回の結果となったということでしょうか。
(総務企画課長) 今回の契約はリースではなく調達も含めた業務委託となります。リースのように期間が終わってリース業者に所有権が戻るということであれば対象にはならないのですが、今回はそのまま苫小牧市、教育委員会に帰属しているということもあり、業務委託のうちの動産取得に該当するということで、追認の議案を提出したところでございます。
(高橋委員) 単純に言うと、要は所有権が行政の方に、市の方に移ったということがわからなかったということですかね。
(総務企画課長) 所有権自体は当初から市にありまして、初めからこちらの意図で委託事業者であるI・TECソリューションズに調達を委託しているところですが、環境整備の一環としてタブレット保管庫を一緒に整備したということもあり、またその保管庫を建物に固定して使用することから、議会に上がる案件としての動産取得という部分ではなく業務委託の一環という解釈をしており、当初動産取得に該当すると認識していなかったところでございます。

<p>(福原教育長) 業務委託の中に動産の取得があった、含まれていると解釈をされたということですね。我々はタブレット保管庫の調達も含めて業務委託という解釈をしていた。3億の委託費のうち、調達費の約9千万円は動産の取得になるという、その辺に解釈違いがあったということです。</p>
<p>(高橋委員) ということは、委託しているところが責任を負うという考え方の中に、財物が入っていないという判断だったということですか。委託をしているので、という。</p>
<p>(福原教育長) 業務を委託する中に必要な保管庫として入っていたという、それを動産と見るか、業務委託の一環としてみるかというところの違いだと思うんです。</p>
<p>(高橋委員) 分かりました。もしそうだとした場合に、機械の故障等もあるでしょうから、この財物に関する保険ですとか、そういうのってどういう扱いなのでしょう</p>
<p>か。</p>
<p>(総務企画課長) 委託はしておりますけども、所有権等につきましては教育委員会に元から属するものですので、今回動産の取得として追認で挙げてもその辺は変更ございませんので、特に保険につきましても変更する必要はございません。</p>
<p>(岡田委員) そうすると、売買の買い主は市の教育委員会。売主は販売業者ということ。I・TECソリューションズには業務委託として、環境整備やメンテナンスといったところの業務委託ということでしょうか。</p>
<p>(総務企画課長) おっしゃるとおりで、業務委託先のI・TECソリューションズがこの保守などを行います。</p>
<p>(岡田委員) 入札の関係はどのようになりますか。</p>
<p>(総務企画課長) 業務委託契約というところで、学校内のLAN配線や、児童生徒用に1万数千台導入したタブレットの初期設定作業に合わせて、この充電保管庫の調達・設置というのもその中に入っております。</p>
<p>(佐藤委員) 基本的なことで申し訳ないのですが、解釈の違いというところが出てきたのだらうと思うのですが、令和2年とか令和3年くらいの案件を遡って追認というのは、この議会で認められるものなのですか。</p>

(総務企画課長) 手続き上、今現在は有効な契約といえますか、瑕疵があることから成立していないので、今回の追認議案で改めて承認されるという状況でございます。
(佐藤委員) 追認されるのであれば、変な誤解も受けないだろうなと思ってお伺いしました。
(福原教育長) 他になにかございませんか。ないようであれば質疑を集結してよろしいでしょうか
(一同「はい」の声)
(福原教育長) それでは、報告第2号の質疑を終結いたします。
報告(3) 令和6年度 教育費補正予算について
(教育部斎藤次長) ー教育費補正予算について説明ー
(福原教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
来年の夏休み前には、小学校ですけど保健室にエアコンがつくということですね。前市長ともいろいろ話したのですが、災害の時は学校が基本的に避難所になるということもあり、時期にもよりますけどもスポットクーラーだけではというので、保健室だけでもエアコンが必要という訴えがとおったという。答えられればで構いませんが、中学校はどうする予定ですか。
(教育部山地次長) 今回の補正予算の中では、体力的なこともありますので小学生を優先として行っております。現在、財源について庁内で協議しております、中学校にも早期に設置できるようにと考えております。
(福原教育長) 他になにかございませんか。ないようであれば質疑を集結してよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(福原教育長) それでは、報告第3号の質疑を終結いたします。

報告(4) 教育委員会職員の事故に係る処分について(報告)

報告(5) 教職員の人事異動に係る内申について

(福原教育長) 次に、報告第4号及び第5号についてですが、ともに人事案件であることから、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、審議したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(福原教育長) それでは報告第4号及び第5号を秘密会とすることに決定いたしました。

関係者以外は退席をお願いいたします。

7 その他

(福原教育長) 次に、その他でございますが、事務局、委員の皆様を含めて、何かございますか。

(一同「なし」の声)

8 委員会閉会の宣言(福原教育長)・・・13時52分